

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和2年度事業点検・評価調書

3-19

3-19

章	第3章 佐渡金銀山の保存管理	取組項目	来訪者の適切な誘導
節			
事業(施策)名	19 構成資産内における立入禁止区域の設定と周知	事業主体	佐渡市世界遺産推進課
事業実施期間	H28～R4	関連団体	県治山課、県農地計画課、県文化行政課、佐渡地域振興局(地域整備部、農林水産振興部)、佐渡市防災管財課、(株)ゴールデン佐渡
事業概要	<p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 構成資産における保存管理や来訪者の安全対策のため、立入禁止区域の設定と、これに伴うサイン等の設置により、来訪者の適切な誘導を図る。 <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地形的に危険な箇所や危険生物(マムシ・スズメバチ等)の生息箇所などの危険箇所の把握を行い、安全対策用のハザードマップを作成したうえで、関係機関と協議のうえ、立入禁止区域の設定や案内・誘導・規制サイン等の設置を行う。 		
事業計画と実績	<p>【R2年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ガイダンス施設「きらりうむ佐渡」を中心に、公開・非公開エリアの案内や来訪者向け見学マナーの周知を行う。 ● 非公開エリア(立入禁止区域)へのサイン設置に向けた検討を行う。 <p>【R2年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 来訪者向けの見学マナー啓発用のチラシを、きらりうむ佐渡等の各種関連施設に配架した。 ● 非公開エリアへのサイン設置を検討した結果、サイン設置個所を決定したが、予算が確保できず、サインの設置ができなかった。 		
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 構成資産が広範囲に分布することから、効果的な場所に計画的にサインを設置する必要がある。 <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 見学ルートの整備に合わせ、近隣の非公開エリアに来訪者が入らないよう、立入禁止サインの設置を進める。 		
事業評価	<p>【事業の達成度】 [a・(b)・c]</p> <p>【事業実施の効果】 [a・(b)・c]</p> <p>【総合評価】 [A・(B)・C]</p> <p>◇ 構成資産内の公開・非公開エリアの設定は完了しており、概ね計画どおりに進んでいることからB評価とした。</p>		

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。